

インターナショナルセーフスクール活動の全校化について

1. 目的

令和3年度、さくら小学校、千川中学校がインターナショナルセーフスクール（ISS）の国際認証を取得することにより、全8中学校ブロックに1校以上の認証取得を達成する。

これを契機として、ISS活動（児童・生徒の主体的な活動、科学的アプローチによるケガ（体・心）の予防、地域との協働による安全・安心活動、PDCAサイクルの構築）のノウハウを生かした安全・安心な学校づくりに向けて、ISS活動・取組の全校化を推進する。

2. 中学校ブロックごとの認証取得状況

駒込中学校	巣鴨北中学校	西巣鴨中学校	池袋中学校（認）
仰高小学校（認） 駒込小学校	清和小学校（認） 西巣鴨小学校 豊成小学校 朝日小学校	巣鴨小学校 朋有小学校（認）	池袋第一小学校（認） 池袋本町小学校（認）
西池袋中学校	千登世橋中学校	千川中学校（R03 予定）	明豊中学校
池袋第三小学校 池袋小学校 富士見台小学校（認） 長崎小学校	南池袋小学校 高南小学校（認） 目白小学校	要小学校 高松小学校	千早小学校 さくら小学校（R03 予定） 椎名町小学校

3. 今後の国際認証について

認証取得校 | 3年ごとの再認証取得に引き続き取り組む。

非認証校 | 認証取得校の取組を参考にISS活動に取り組む（新規認証申請は行わない）。

4. ISS活動・取組の全校化に向けた具体的な取組

- ・ 非認証校向けISS活動・取組事例集（導入ガイドライン）の作成
- ・ 保健室ケガデータ入力方法の統一化
- ・ ISS認証校による全体会の開催
- ・ 学校運営（連絡）協議会への地域対策委員会機能の付加または統合によるPDCAサイクルの構築

5. コミュニティ・スクール（CS）との連動について

今後は、ISS活動を内包した形でCSを導入するため、ISS認証取得校から順次CSモデル事業を実施し、その後、ISS活動に取り組んでいる非認証校に拡大し、最終的にCSの全校化を目指す。